

寅さんサミットを龍野 に誘致する会



寅さんサミットを
龍野で開催するぞ！

たつの市自立まちづくり事業認定

寅さんサミットとは

2015年から「寅さんのふるさと」東京葛飾柴又で「寅さんサミット」が開催されています。

その副題が「日本の原風景を守り後世に伝える」です。

映画『男はつらいよ』の世界に広がる 今でも変わらぬ風景や人情は寅さんがこよなく愛した風景であり、葛飾柴又が大切にしてきた風景です。

映画のロケ地となった各地域のそれぞれの風景を「原風景」というキーワードで結びこれを大切に守り育んでいく機会として開催されています。



寅さんとふるさと龍野

私達のふるさと龍野は、映画『男はつらいよ』シリーズ第17作目「寅次郎 夕焼け小焼け」のロケ地になりました。龍野を舞台にしたこの17作目は、ファンから最高傑作と呼び名が高い名作です。

山田洋次監督が作り出す寅さんの風景は 心の郷愁を誘い 懐かしくもそして哀しくもあります。

監督はロケ地を選ぶ際に「寅さんの好きな 町や村、寅さんに似合う ” 風景 ” を求めて僕たちロケ隊は 日本中を旅してきました。」と語られています。

山田洋次監督が 寅さんの舞台にと招致されてではなく自ら龍野を選んでいただいたということ、それは たつの市民の荣誉であり誇りです。

寅さんが愛した 童謡 「赤とんぼ」と たつの市

郷愁を覚えるうたの代表作『赤とんぼ』は、龍野が生んだ詩人 三木露風 が作詞。

「1989年 昭和 64年(平成元年)NHKが募集した「日本のうた、ふるさとのうた」で 5000曲の候補の中で『赤とんぼ』が第1位に選ばれました。
「日本全国どこの夕暮れにもあう」「赤とんぼ に懐かしさを感じない人はいない」と言われた国民のうたです。

龍野は日本を代表する名曲「赤とんぼ」のふるさとそして「寅次郎 夕焼け小焼け」から感じる心のふるさとでもあります。



今から41年前の1975年(昭和51年)5月、山田 洋次 監督作品『男はつらいよ 寅次郎 夕焼け小焼け』の撮影で“寅さん”こと 渥美 清さんと宇野 重吉さんが演じる 池ノ内 青観との再会の場所、たつの市 揖西町 佐江の「清江橋」で 渥美 清さんを偶然見かけることができました。映画の中での龍野の風景はこの地の良さ、魅力を改めて私に教えてくれました、それが私が龍野に住み続ける理由です。寅さんを知らない世代にも、龍野の美しい山や美しい川、美しい自然、そしてやさしく人情味あふれる人達をこれからの世代にも残していきたいと思っておりました。

そんなとき、寅さんのふるさと葛飾柴又で“寅さんサミット”が開催され、第一回開催は2日間で述べ21000人の来場されたとのこと。第17作目の舞台となった、たつの市からも 2015年、2016年と2年連続代表者が出演、名産・特産市・文化を全国に紹介しました。

山田洋次監督は「渥美さんは亡くなったが、寅さんはこの地で生き続けている。人情ある町を守るためにもこのイベントが定着してほしい」と語られました。

山田 洋次監督の思いに共鳴した私達は寅さんサミットを定着させ、寅さんを通じて日本の原風景をこれからの世代に残すべく葛飾柴又以外でも寅さんでつながった各地域で寅さんサミットを開催できるようにしたいそして地方開催の最初は龍野で開催したいと夢をえがき実現すべく「寅さんサミットを龍野に誘致する会」を立ち上げました。

平成29年8月吉日

ナムラ

寅さんサミットを龍野に誘致する会 実行委員会・会長 苗村信行
実行委員会一同



寅さんを通じて龍野の魅力を伝える活動を応援してください



私どもの会では寅さんサミットを龍野に誘致する活動に伴い寄付金をお願いする事になりました。

各方面の有志の方々には、宜しくご協力、ご協賛を賜りたく存じます。

本趣旨に対し何分のご配慮を賜り何卒ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

活動内容

- ・ イベント・映画『男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け』上映会&ウラ話
- ・ 龍野、寅さんロケ地めぐり
- ・ 寅さん仮装大会
- ・ 龍野の夕焼け写真展
- ・ イベントグッズ作成
- ・ パンフレット、チラシ作製など

寄付の方法 振込先口座

- 個人 1000円/1口(何口でも)
- 法人 5000円/1口(何口でも)
- 会員へ手渡しくださる方法(別紙、ご寄付のお願いにて)

□ ゆうちょ銀行からのお振込み:

(※ゆうちょから ゆうちょ への振込は手数料はかかりません)

14350-95476041

□ その他金融機関からのお振込み・現金振込:

(※手数料がかかります)

店番 四三八(438) 普通預金 9547604

■ 振込先名

寅さんサミットを龍野に誘致する会 会長 苗村 信行

お問い合わせ

◆ 事務局

〒679-4022 たつの市揖西町北沢315番地

◆ 電話番号:FAX

0791-66-0874

◆ メールアドレス

toransummitintatuno@gmail.com

◆ ホームページ

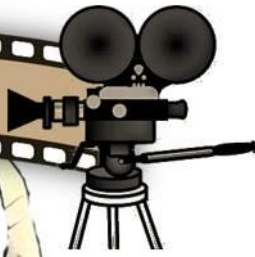


<https://toransummit-in-tatuno.jimdo.com>

- ◎ ご寄附頂いた有志の方は『オータムフェスティバルin龍野』で配布するパンフレットにご芳名を掲載させていただきます。



寅さん口ケ地紹介



① 清風
龍野の朝、何気ない人々の生活を写したワンシーンに使われた



② 如来寺方面
「梅玉」に行く芸者さんのシーン（薄暗い夕方のワンシーン）



③ 揖西町 清江橋
「寅さんと池ノ内青観が再会する場所」



④ 龍野町 門の外
龍野市観光課課長佐藤（桜井センリ）が市役所の車で寅を案内するシーン



⑤ Arts&Tea「ガレリア」龍野橋東詰
川の東岸ロケ地。寅さんが観光課長に連れられ訪れる。



⑥ 「龍野橋」東詰から見る鶏籠山
観光課長が「ここから見える鶏籠山（けいろうざん）が一番美しい」とつぶやく



⑨ 十字川に架かる「あいおいばし」
寅さんと池之内青観は帰京。ぼたんが「寅さん」と見送りに来るシーン



⑦ たつの市中央公民館前
寅さんと池ノ内青観と共に車に乗って龍野市役所に到着シーン



⑧ 梅玉旅館
寅さんと池ノ内青観が泊まっていた宿



⑩ 龍野町本町菊屋の四つ角
寅さんと池之内青観は帰京。タクシーで曲がるシーン



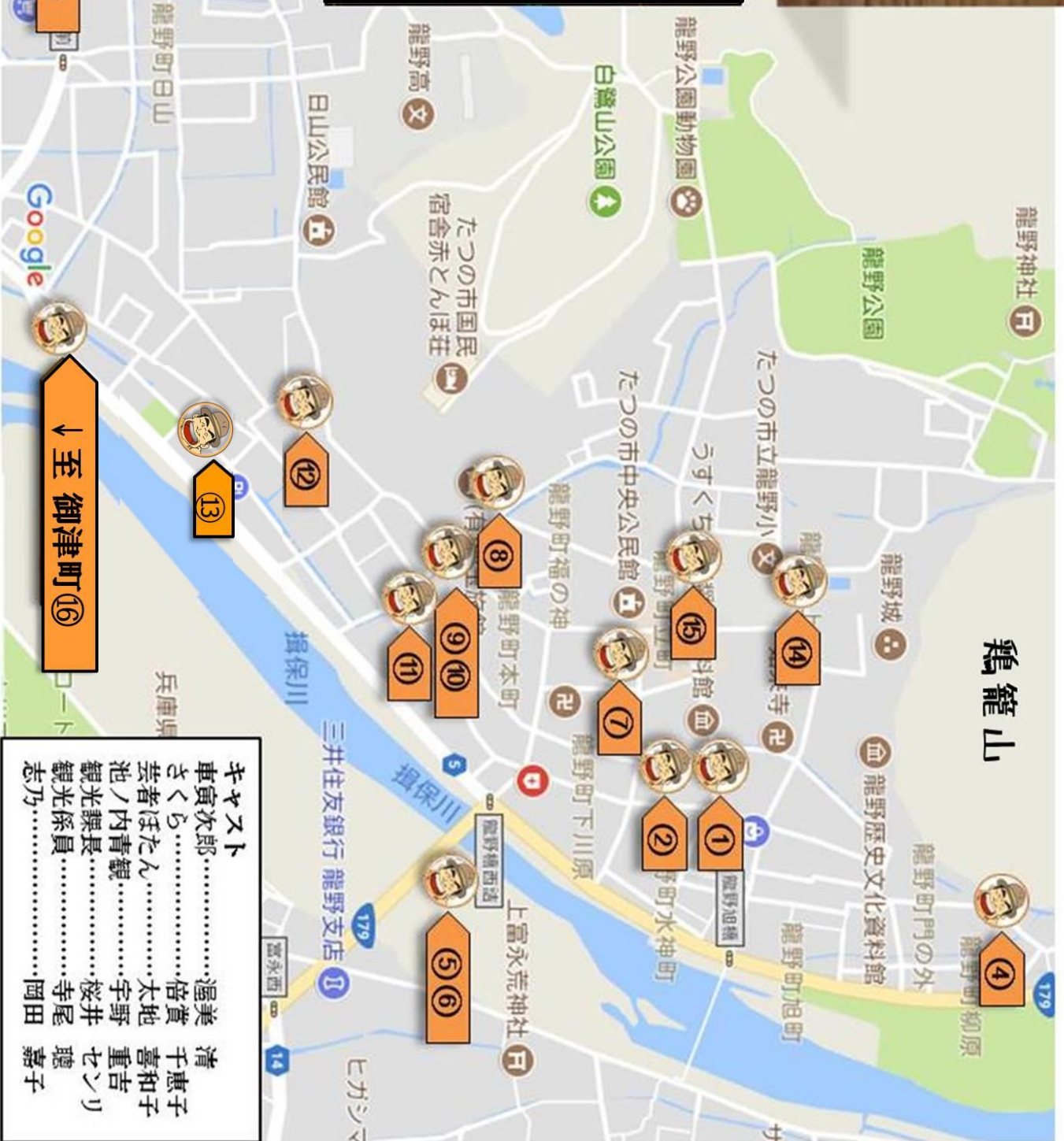
⑪ 龍野町本町伊勢谷前
寅さんが2回目龍野を訪れるカット。氷屋さんが氷をのこぎりで切っている横を寅さんが歩いている



⑫ 旧ヒガシマル第2工場跡地
寅「おいっ！東京どっちだ？」とラストシーンで池之内青観が住む東京方面に拍手を打つ場所

寅さん ロケ地マップ

- ⑬ 志乃が青観に別れを告げるシーンに使用
- ⑭ 震城館から龍野城方向
青観が歩くシーンに使用
- ⑮ 龍野小学校南門付近
夕焼けに染まる龍野の風景に使用
- ⑯ 至御津町
寅さんが釣りをしながら
夢を見る、冒頭のシーンに使用



← 至 揖西町 ③

↓ 至 御津町 ⑯

キャスト	
車寅次郎	湯美
さくら	倍賞
芸者ぼたん	大地
池ノ内青観	宇野
観光課長	桜井
観光係員	寺尾
志乃	岡田
	清
	千恵子
	重吉
	セツ子
	嘉子